

## ベネズエラ経済（2015 年 2 月）

### 1 経済概要

#### （1）政府の各種政策・統計

●ベネズエラ中央銀行（BCV）は、2014年12月のインフレ率が5.3%となり、この結果、2014年通年で、68.5%に達した旨発表した。

●臨時官報第6171号は、為替取決第33号を公布。1米ドル＝6.3ボリバルを食糧・医薬品等向けに維持、SICADを統一し、1米ドル＝12.0ボリバルから運用、新たな需給メカニズムに応じ為替レートが決定されるSIMADI (Sistema Marginal de Divisas) の導入等が主な内容。

#### （2）政府予算・財政

●CITGOは、ドイツ銀行及びBTG Pactualを幹事に、18億米ドルの融資、15億米ドルの社債の発行による資金調達を行い、PDVSA向けの配当送金に充てることとなった。

#### （3）石油・天然ガス産業

●石油鉱業省、PDVSA 及びベネズエラ炭化水素協会（AVHI）は会合をもち、AVHI から、適用為替の見直し、資材等の調達方法の見直し、競争力の確保、安全・環境の確保、エスカラー勘定の活用等が提案された。

#### （4）自動車産業

●ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全7社の1月の自動車生産台数が、前年同月の296台に比し、63.5%増の484台となった旨発表した。他方、1月の国内生産車、輸入車の国内販売台数は、それぞれ、679台、4台となった。

#### （5）その他産業

●チャコン電力大臣は、2015年の投資計画として、42.95億ボリバル及び49.01億米ドルを、1,800Mwの発電能力強化に向けることを発表した。

●航空業界関係筋は、ジョフレダ空輸海運大臣が航空業界各社に対し、2015年の外貨発給申請を受け付けないと通知している旨述べた。

#### （6）外貨発給状況

●ベネズエラ中央銀行（BCV）は、為替取決第33号に基づく臨時の外貨競売として、応札下限額を5万米ドル、応札上限額を50万米ドルとして公示、競売結果として、落札総額が421.4万米ドル、落札機関数が23、為替レートが1米ドル＝171.6227ボリバルであった旨発表した。

## 2 経済の主な動き

### (1) 政府等の各種政策・統計

#### ア 経済指標（実績）

##### ●インフレ率

ベネズエラ中央銀行（BCV）は、2014年12月のインフレ率が5.3%となり、この結果、2014年通年で68.5%に達したと発表した。

（13日付BCVプレスリリース）

##### ●食糧バスケット

国家統計局（INE）によると、2014年11月の食糧バスケットは、前月比6.75%増となる6,382.62ボリバルとなった。

（10日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、エル・ムンド紙）

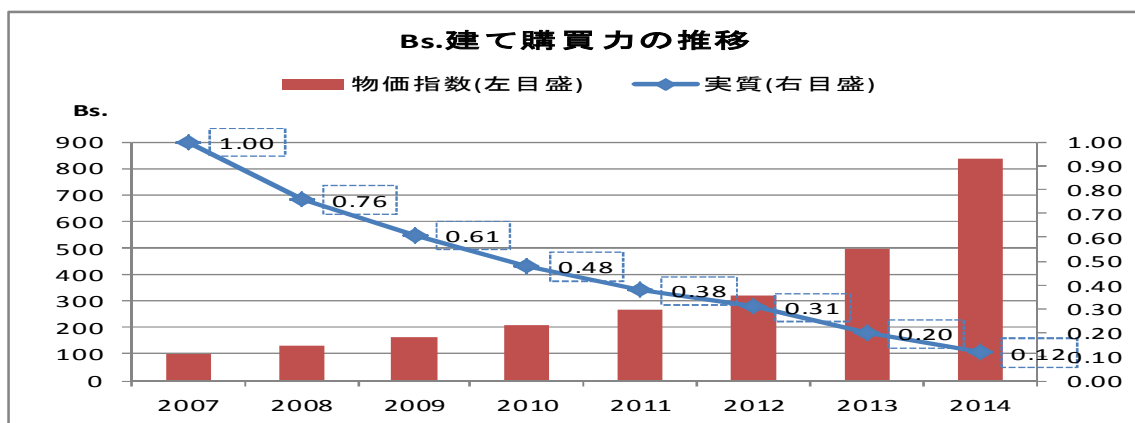
##### ●製造業界の稼働率

ベネズエラ工業連盟（Conindustria）によると、製造業界の稼働率は、1998年の60.35%から2014年6月には50.49%へ減少、GDPへの寄与率も1998年の17.4%から2014年9月には13.4%へ減少したと発表した。

（8日付エル・ユニベルサル紙）

##### ●ボリバル建て購買力の推移

ベネズエラ中央銀行（BCV）の統計によると、2007年～2014年におけるボリバル建て購買力の推移は以下のとおりとなった。



（23日付エル・ユニベルサル紙）

#### イ 各種政策・規制・規則

##### ●大手ドラッグストア幹部の逮捕

政府は、大手ドラッグストア（Farmatodo）の幹部を、ボイコット、経済の不安定化の扇動及び非稼働のレジの存在等を理由に逮捕した。

（2～5日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナショナル紙、エル・ムンド紙）

### ●新為替政策

臨時官報第6171号は、為替取決第33号を公布。1米ドル＝6.3ボリバル（「必要性の70%」への対応）を食糧・医薬品等向けに維持、SICADを統一し、1米ドル＝12.0ボリバルから運用、経済活動の需要の2～3%へ対応するための新たな需給メカニズムに応じ為替レートが決定されるSIMADI（Sistema Marginal de Divisas）の導入等が主な内容。

なお、エコアナリティカ社は、SIMADIへの外貨の供給源としては、国債及びPDVSA債から30億米ドル、PDVSAから20億米ドル、資源分野の企業から15億米ドル及び各種基金から10億米ドルとなることから、利益剰余金及び原油業界の未収外貨226億米ドルへの影響が懸念されるとの分析を発表した。

（10～15日付エル・ウニベルサル紙、エル・ナシオナル紙、エル・ムント紙）

### ●酒類に対する増税施行

2014年11月18日に公布された官報第6151号に基づき、90日の経過期間を経て、ワインについては15%から30%、その他の飲料については20%から50%の増税が施行された。

（18日付エル・ムント紙）

### ●PDVALによるDia Dia（スーパーマーケット）の管理

官報第40603号は、スーパーマーケットDia Diaをベネズエラ食糧生産・流通公社（PDVAL）の管理下に置く旨公布した。

（18日付官報第40603号）

### ●政府による食糧・基礎物資の輸入

ベネズエラ政府は、60億米ドル相当の食糧及び基礎物資が4～5月にベネズエラへ到着する予定である旨発表した。

（23日付エル・ウニベルサル紙）

### ●租税単位の改正

官報第40608号は、租税単位（UT）を、単位当たり127ボリバルから同150ボリバルへ引上げる旨公布した。

（25日付官報第40608号）

## ウ 組織・人事

### ●国連食糧農業機関（FAO）ベネズエラ大使の任命

メネンデス企画・基礎教育担当副大統領は、国連食糧農業機関（FAO）代表部大使にエリ阿斯・エリフリ（Elias Elijuri）国家統計局（INE）長官を任命した。

なお、INE新長官には、ラウル・パチェコ（Raul Pacheco）氏が任命された。

（24日付エル・ムント紙）

## エ 貿易統計

### ●対米国貿易

ベネズエラ商工会議所によると、2014年のベネズエラと米国の貿易額は、前年比8%減となる415億米ドルであった。

なお、ベネズエラから米国への輸出額は前年比5.6%減となる302億米ドル（内、原油・石油は290億米ドル）、ベネズエラの米国からの輸入額は同比14.2%減となる113億米ドル（同28億米ドル）であった。

（19日付エル・ナショナル紙）

### ●対コロンビア貿易

ベネズエラ・コロンビア商工会議所（CAVECOL）によると、2014年の両国間の貿易額は、前年比19.4%減となる21.53億米ドルであった。

なお、ベネズエラからコロンビアへの輸出額は前年比1%減となる4.16億米ドル、ベネズエラのコロンビアからの輸入額は同比22.8%減となる17.37億米ドルであった。

（18日付エル・ユニバル紙）

## オ 政府ミッション進捗

### ●住宅ミッション

モリーナ住宅・環境大臣は、住宅ミッションの拡充に向け、2,040億ボリバル及び30億米ドルの資金を投入することを承認した。

なお、同大臣は、住宅ミッションの特別委員会のトップに、チャコン電力大臣を充てる旨発表した。

（11日付エル・ユニバル紙）

## カ 対外関係

### ●ロドリゲス外務大臣とロシア・フランス・サウジアラビア大使との面談

ロドリゲス外務大臣は、ロシア、フランス及びサウジアラビア等の各国大使と二国間関係強化を図るべく、会談した。

（5日付ウルティマス・ノティシア紙）

### ●マドゥーロ大統領によるトリニダード・トバゴ訪問

マドゥーロ大統領はトリニダード・トバゴを訪問し、パサード＝ビセッサ首相と会談を行い、エネルギー、航空、観光、漁業、治安、領事、西半球問題及び多国間関係等について協議した。また、マナキン・コクイナ油田の炭化水素貯留層開発の共同開発協定等に署名した。

（25日付エル・ユニバル紙）

キ スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)による格付け引下げ

格付け会社大手スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)は、ベネズエラの外貨建て長期ソブリン債の格付けを「CCCプラス」から「CCC」へ1段階引き下げた。

(10日付エル・ユニベルサル紙, エル・ナシオナル紙, エル・ムント紙)

ク スイスリークスによるHSBCのスイスの口座残高にかかる情報の公表

スイスリークスが、2005年～2007年のHSBCスイスのベネズエラ名義の口座の外貨保有残高にかかる調査結果を公表。世界で第3位の規模となる148億米ドルの預金を確認された。

(10日付エル・ムント紙)

ケ 国際投資紛争解決センターにおけるExxonとの係争案件

ロイター通信によると、ベネズエラは国際投資紛争解決センターに対して、Exxonとの間の係争案件に対して16億米ドルの賠償を求める裁決の取消しを申請した。

なお、ニューヨーク州司法は、Exxon案件にかかるベネズエラの金利引下げの要請を棄却した。

(27日付エル・ナシオナル紙, エル・ムント紙, 3月5日付エル・ナシオナル紙)

## (2) 政府予算・財政

### ア 税收

租税監督庁(SENIAT)は、2015年2月の徴税額が、475.63億ボリバルとなった旨発表した。

(2015年3月10日付SENIATホームページ)

### イ 追加予算

2月の国会(財務・経済開発委員会)による追加予算の承認額は、482.95億ボリバルとなった。

(10日, 24日付官報第40599号, 40607号)

### ウ 公的債務

#### ●国債の利払い

・マルコ経済・財務・公共銀行大臣は、自身のツイッターを通じて、2031年に償還期限が到来する国債の金利として、2.5億米ドルを支払った旨述べた。

(9日付エル・ムント紙)

・18日, PDVSAは、2022年に償還期限が到来する社債の金利として、1.91億米ドルを支払った旨発表した。なお、次回利払いは8月17日となる。

(19日付エル・ウニベルサル紙)

●ボリバル建て国債発行の承認

大統領府は、2015年度の国家予算に基づき、964億ボリバルの国債を発行することを承認した。

(26日付エル・ウニベルサル紙)

エ ベネズエラ中央銀行 (BCV) によるPDVSA向け財政支援額

ベネズエラ中央銀行 (BCV) によると、2014年のBCVによるPDVSA向けの財政支援額は、前年比65%増の6,728.86億ボリバルとなった。

(9日付エル・ムンド紙)

オ 通貨供給量 (M2)

ベネズエラ中央銀行によると、1月30日時点における通貨供給量 (M2) は、2兆459億9,400万ボリバルとなった。内訳は、72%が要求払預金、18%が貯蓄性預金、8%が通貨紙幣、2%が準通貨であった。

なお、2月13日時点の同供給量 (M2) は、2兆625億7,500万ボリバルとなった。

(9日, 23日付エル・ウニベルサル紙)

カ CITGOによる資金調達

CITGOは、ドイツ銀行及びBTG Pactualを幹事に、18億米ドルの融資、15億米ドルの社債の発行による資金調達を行い、PDVSA向けの配当送金に充てることとなった。

(11日付エル・ウニベルサル紙)

キ 金融機関による貸付残高

Softline Consultoresによると、1月の金融機関の貸付残高は、前月比2.02%増、前年同月比81.85%増となる1兆1,835.44億ボリバルであった。

(19日付エル・ウニベルサル紙)

ク PDVSAの社債発行残高

PDVSA及びBoungy社によると、2015年～2037年に償還期限を迎えるPDVSAの全11の社債の発行残高は、334億米ドルであった。

(22日付エル・ウニベルサル紙)

ケ 外貨準備高の増加

マルコ経済・財務・公共銀行大臣は、外貨準備高の増加は、戦略的基金からの拠出で

あると示唆した。また、Sintesis Financiera社は、外貨準備高の増加の背景として、CITGOによる資金調達、ペトロカリベ債権の回収前倒し、中国基金のフェーズBとして80億米ドルの更新等が挙げられる旨発表した。

(24日付エル・ムンド紙、27日～3月6日付キント・デ・イ紙)

### (3) 石油・天然ガス産業

#### ア 原油生産・精製・輸出・輸入動向

##### ●需要動向

OPECは、2015年の原油市場について、OPEC加盟国においては、前回から日量43万バレル増となる同2,921万バレル、非OPEC諸国においては、前回から日量41万バレル減となる5,709万バレルとの需要動向を発表した。

(10日付エル・ユニベルサル紙、エル・ムンド紙)

##### ●精製量

エル・ムンド紙が2月16日時点で得た情報によると、アムアイ製油所の精製量は、精製能力の日量65万バレルに比し58.6%相当となる37.79万バレルであった。

また、パラグアナ製油所の精製量は、精製能力の日量31万バレルに比し53.3%相当となる16.52万バレルであった。

(19日付エル・ムンド紙)

#### イ 対外取引

##### ●対ペトロカリベ

エル・ユニベルサル紙がまとめたところによると、ペトロカリベの枠組みによる融資条件及び主要国との取引状況は以下のとおりとなった。

原油価格による長期融資条件

|   | 原油価格(US\$/bbl) | 長期融資構成比(%) |
|---|----------------|------------|
| Ⅲ | 15             | 5          |
| Ⅲ | 20             | 10         |
| Ⅲ | 22             | 15         |
| Ⅲ | 24             | 20         |
| Ⅲ | 30             | 25         |
| Ⅲ | 40             | 30         |
| Ⅲ | 50             | 40         |
| Ⅲ | 80             | 50         |
| Ⅲ | 100            | 60         |
| Ⅲ | 150            | 70         |

ペトロリアの枠組みによる主要国取引

| 国名              | 年     |        |        |       |       | 単位       |
|-----------------|-------|--------|--------|-------|-------|----------|
|                 | 2013  | 2012   | 2011   | 2010  | 2009  |          |
| キューバ            | 99.3  | 91.1   | 96.3   | 97.8  | 93.3  | k bbl/d  |
| エルサルバドル         | 6.4   | 12.7   | 7.2    | 3.5   | 3.5   |          |
| ハイチ             | 14.0  | 14.2   | 13.8   | 11.7  | 14.2  |          |
| ジャマイカ           | 22.3  | 25.9   | 24.4   | 25.6  | 27.9  |          |
| ドミニカ共和国         | 28.6  | 26.9   | 26.5   | 29.2  | 27.6  |          |
| ニカラガ            | 26.7  | 27.5   | 16.6   | 23.1  | 25.1  |          |
| その他             | 13.8  | 13.8   | 6.1    | 6.1   | 11.6  |          |
| 輸出量計            | 211.1 | 212.1  | 190.9  | 197.0 | 203.2 |          |
| 原油輸出価格平均        | 98.08 | 103.42 | 101.06 | 71.97 | 57.10 | US\$/bbl |
| 長期融資構成比         | 50.0  | 60.0   | 60.0   | 40.0  | 40.0  | %        |
| 新規債務(債権)発生 * 推定 | 3,727 | 4,738  | 4,167  | 2,942 | 1,671 | US\$ 百万  |

(8 日付エル・ユニベルサル紙)

●アルジェリアからの原油輸入

ロイター通信は、アルジェリアからの軽質油の輸入は、技術的問題及び輸出者との問題を背景に停止している旨報じた。

(6 日付エル・ナショナル紙)

●ロドリゲス外務大臣及びチャベス石油鉱業大臣のロシア訪問

ロドリゲス外務大臣及びチャベス石油鉱業大臣は、ロシアを訪問し、ノヴァク・ロシア石油大臣と現下の原油市場に対して協働していくことを確認した。

(12 日付石油鉱業プレスリリース)

●アンティグア・バーブーダ西インド諸島石油会社 (WIOC) への投資合意

21 日、ロドリゲス・ベネズエラ外相とブラウン・アンティグア・バーブーダ首相は、アンティグア・バーブーダの WIOC の所有に関する協定について合意し、ベネズエラは 2,400 万米ドルを拠出する予定である旨発表した。また、ブラウン首相は、中国の投資家からの 3,000 万米ドルを確保し WIOC の維持管理費や拡張費として利用する予定である旨述べた。

なお、アンティグア・バーブーダ政府は WIOC の 51% のシェアを保持する。

(24 日付エル・ナショナル紙、エル・ムント紙)

●Statoil 社によるベネズエラ向け原油の落札

Statoil 社は、ベネズエラ向け原油 70 万バレル 3 隻を落札し、2～3 月にキュラソーの製油所に到着することが関係者筋から明らかとなった。

(25 日付エル・ムント紙)

ウ その他

●Harvest Natural Resources 社による訴訟取下げ

Harvest Natural Resources 社は、同社が保有する Petrodelta 社の株式の 32% を Pulspetrol 社へ 4 億米ドル相当で売却するに当たっての訴訟を取り下げた旨発表した。

(2 日付エル・ムント紙)



●石油鉱業省・PDVSA・ベネズエラ炭化水素協会（AVHI）による会合

石油鉱業省、PDVSA 及びベネズエラ炭化水素協会（AVHI）は会合をもち、AVHI から、適用為替の見直し、資材等の調達方法の見直し、競争力の確保、安全・環境の確保、エスロー勘定の活用等が提案された。

（9 日付エル・ムント紙）

（4）自動車産業

ア 生産・組立/販売台数

ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）は、加盟全 7 社の 1 月の自動車生産台数が、前年同月の 296 台に比し、63.5%増の 484 台となった旨発表した。

他方、1 月の国内生産車、輸入車の国内販売台数は、それぞれ、679 台、4 台となった。

（4 日付 CAVENEZ 発表）

イ 生産的プログラム（La Venezolana）案件の進捗

生産的プログラム（La Venezolana）案件の被害者グループによると、アレアサ副大統領の提案により、本件の解決に向けて、被害者からのデポジットの返金若しくは月 100 台の納車により補償対応の用意がある旨発表された。

（11 日、12 日付エル・ムント紙）

ウ ベネズエラトヨタ社による新型カローラ導入

ベネズエラトヨタ社は、3,000 万米ドルの投資を実行し、新型カローラ導入を発表した。

（20 日、21 日付エル・ナショナル紙、20 日付エル・ムント紙）

エ 部品業界向け外貨割当承認

エル・トゥルディ陸上輸送・公共銀行大臣は、Firestone, Goodyear, Pirrelli 等の自動車部品業界向けに、中国基金を原資に総額 4 億米ドルの外貨割当を承認した旨発表した。

（23 日付エル・ムント紙）

（5）その他

ア 電力

チャコン電力大臣は、2015 年の投資計画として、42.95 億ボリバル及び 49.01 億米ドルを、1,800 Mw の発電能力強化に向けることを発表した。

（2 日付ウルティマス・ティマス紙）

## イ 観光

### ●国際観光見本市

Veneturによると、マドリッドにおいて開催された2015年国際観光見本市において、ベネズエラ政府から宿泊関連のプロモーションとして、約1.5百万米ドルの商談が展開された。

(2日付エル・ユニベルサル紙)

### ●2014年のベネズエラへの外国人観光客数

観光省の統計に基づくと、2014年のベネズエラへの外国人観光客数は、967,358名となり、前年比10.8%の減少となった。

(2日付エル・ナショナル紙)

## ウ 航空

航空業界関係筋は、ジョフレダ空輸海運大臣が航空業界各社に対し、2015年の外貨発給申請を受け付けないと通知している旨述べた。

(5日付エル・ナショナル紙)

## エ アルコール

業界関係者によると、2014年のアルコール業界に対する外貨発給額は、前年の1.3～1.4億米ドルに比し、4,000万米ドル程度であった。

(17日付エル・ナショナル紙)

### (6) 外貨発給状況

#### ア 2014年の外貨割当の構成

エコアナリティカ社は、2014年の外貨割当の構成比は、1米ドル=6.3ボリバルのCENCOEXレートを通じて62.5%、SICAD1を通じて32.7%、SICAD2を通じて4.8%であり、その結果、加重平均為替レートが1米ドル=9.95ボリバルであったとする分析結果を発表した。

(12日付エル・ムンド紙)

## イ SIMADI

### ●臨時の外貨競売

ベネズエラ中央銀行（BCV）は、為替取決第33号に基づく臨時の外貨競売として、応札下限額を5万米ドル、応札上限額を50万米ドルとして公示、競売結果として、落札総額421.4万米ドル、落札機関数23、為替レートが1米ドル=171.6227ボリバルであった旨発表した。

(18～20日付BCVプレスリリース)

●エコアナリティカ社による外貨供給の予測

エコアナリティカ社は、2015年のSIMADIによる外貨供給額について、公社債を原資に30億米ドル、PDVSAから20億米ドル、原油関連企業から15億米ドル、各種基金から10億米ドルの総額75億米ドルとなる見通しを発表した。

(23日付エル・ムンド紙)